



1_「荻外荘」と復原整備事業の概要

2_「荻外荘」の基礎知識

2-1_「荻外荘」建設に至る背景

2-2_「荻外荘」の場所的価値

2-3_「荻外荘」の建築的価値

2-4_創建時の「荻外荘」にみる建築的特徴

2-5_「荻外荘」に関する新発見

3_「荻外荘」の復原整備に関する考え方

3-1_修理の方法と復原/復元の考え方

3-2_軸組の復原

3-3_内装の再現(客間が主)

3-4_復原の社会的意義

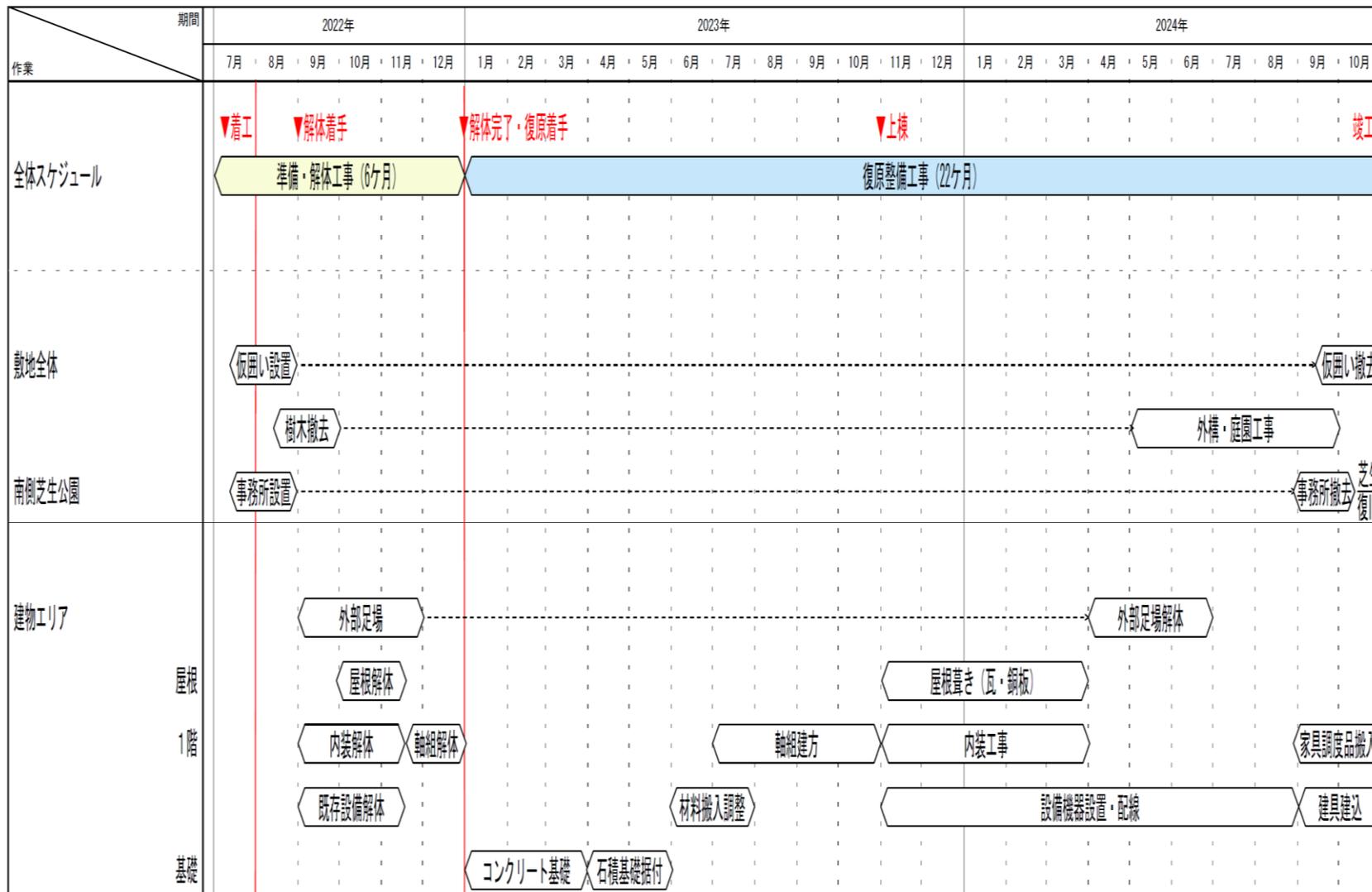
4_「荻外荘」の復原整備工事

4-1_豊島区での解体工事と部材の保管

4-2_復原整備工事のプロセスと各種工事内容

4-3_復原整備工事における製作物について

4-2_復原整備工事プロセスと各種工事の解説



①調査解体工事

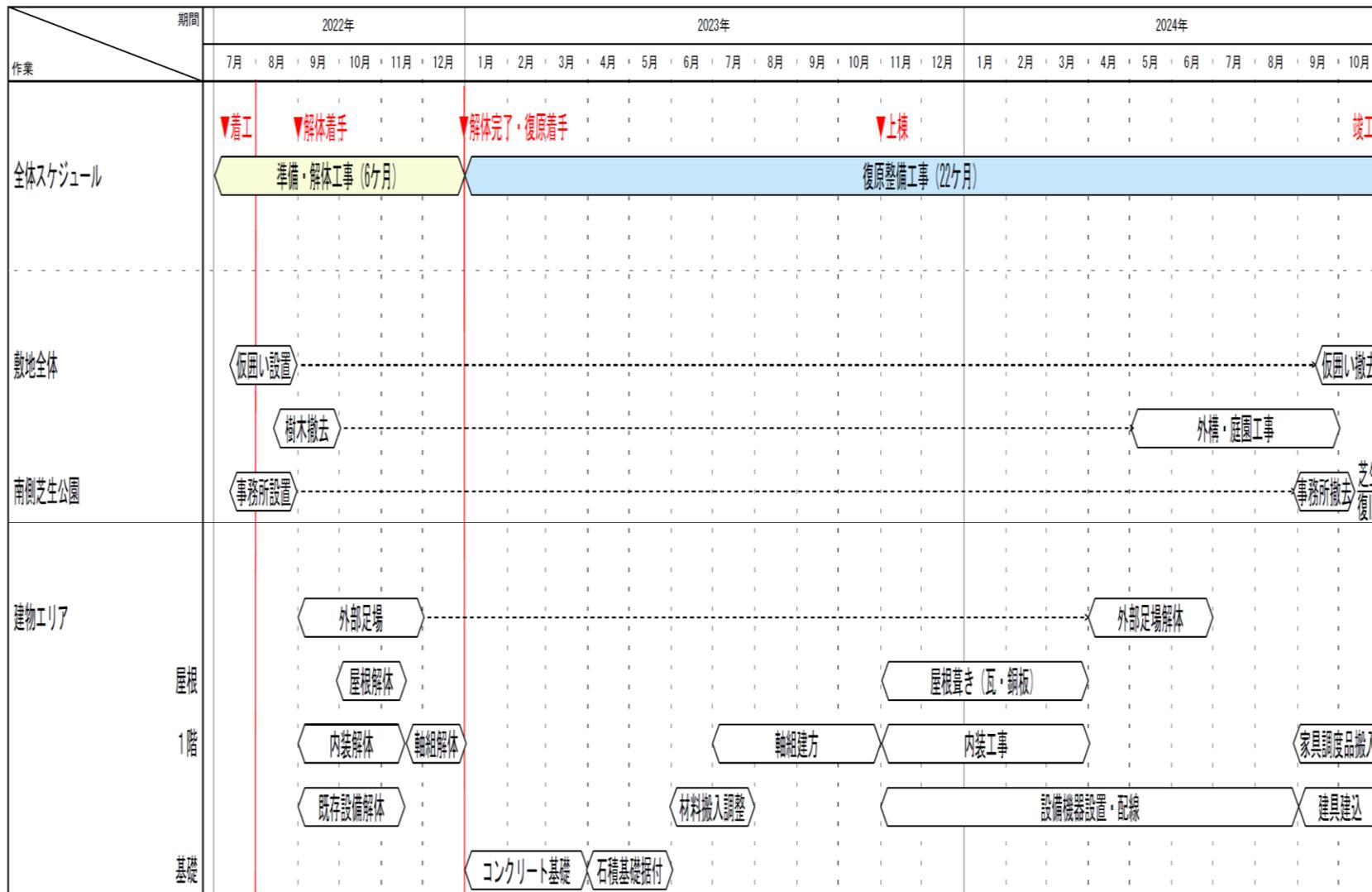
②コンクリート工事

③木工事

④屋根葺工事
(瓦・銅板)

※着工時のスケジュール

4-2_復原整備工事プロセスと各種工事の解説



①調査解体工事

②コンクリート工事

③木工事

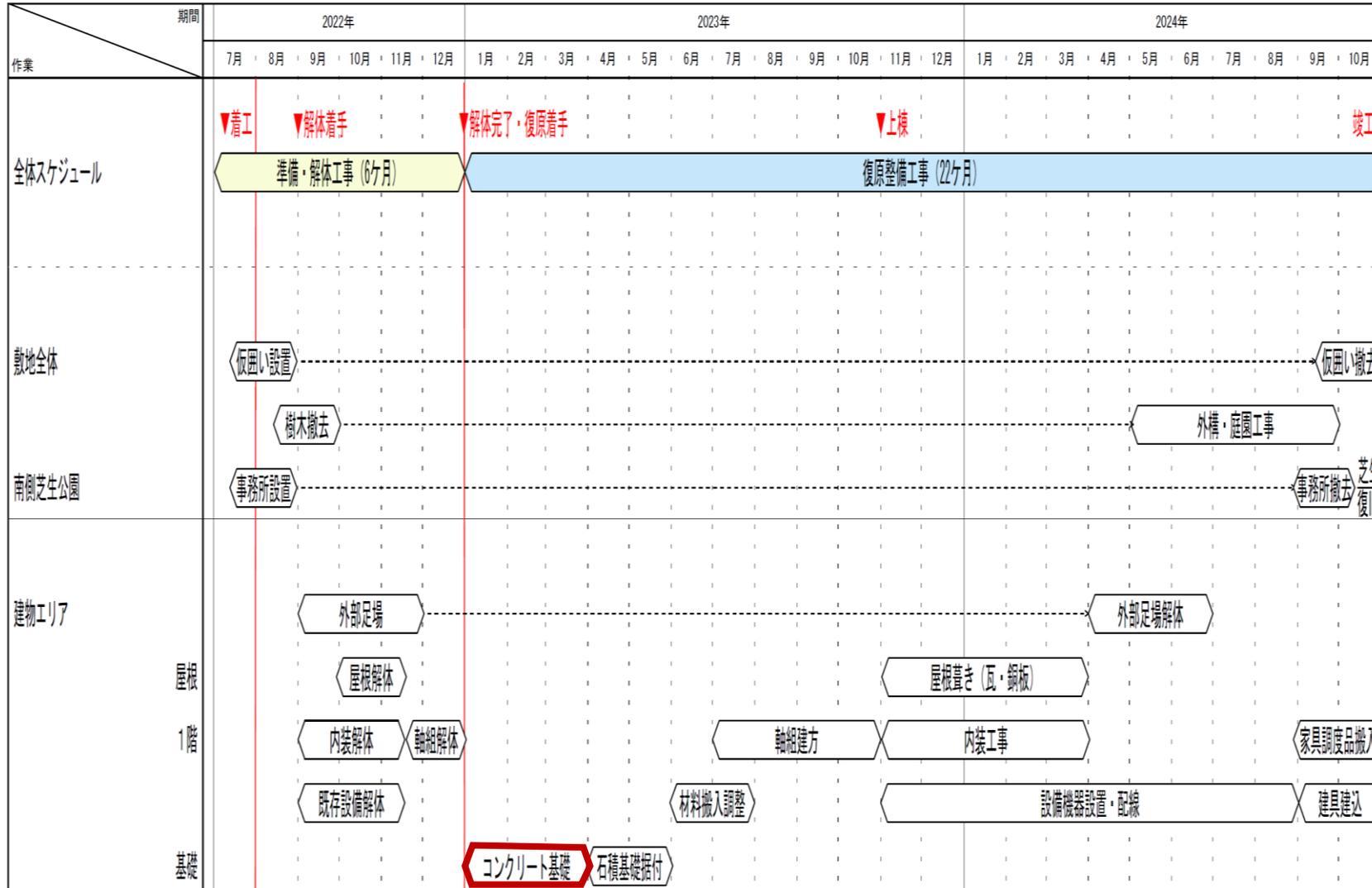
④屋根葺工事 (瓦・銅板)

※着工時のスケジュール



一つ一つの部材を実測し、野帳に記録をつけながら丁寧に分解する。

4-2_復原整備工事プロセスと各種工事の解説



①調査解体工事

②コンクリート工事

③木工事

④屋根葺工事
(瓦・銅板)

※着工時のスケジュール

創建時の基礎遺構



基礎遺構を保護した上での新設基礎構築



復原した建物の安全性を確保するために、既存の遺構を保護した上で必要なコンクリート基礎を新設。

応接室に隣接した客用トイレの基礎遺構



遺構を傷つけないように、縁をきりながら、コンクリート基礎を構築。